



全国各地から大勢の人が訪れ、入場ゲートには長蛇の列ができた



温かいすまし雑煮に、思わず顔がほころぶ



お餅は、炭火で1つひとつ丹念に焼き上げられる



鏡開きでは、鏡餅を専用の餅切り器で食べやすい大きさに切り分けた（4日）

新春恒例の伝統行事に6万2000人

天理教教会本部「お節会」

1月5日から7日まで、天理教教会本部（奈良県天理市）で新春恒例の「お節会」が催された。これは明治初期から続くもので、親神様へのお供えとして全国各地の教会から教会本部に寄せられた鏡餅を、1月4日の「鏡開き」で食べやすい大きさに切り分け、すまし汁の雑煮にして振る舞う伝統行事。今年は3日間で6万2123人が訪れ、伝統の味に舌鼓を打った。また、会場では餅焼きや接待、誘導など、学生を含む4749人の教信者が、真心こめて受け入れに当たった。

